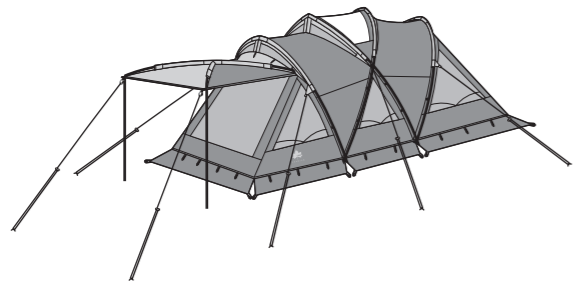


設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



フライシート×1	インナーテント×1	メインフレーム【黒】×2 (アルミ+7075超々ジュラルミン) 山型	サブフレーム【グレー】×2 (アルミ+7075超々ジュラルミン) 山型	パネルフレーム×2 (アルミ) 直線型・中
キャンピール×2 (スチール)	ペグ (スチール)	ロープ×8 ※サービス品	カーセット用ジョイント×2 (PVC、ABS) ※一部装着済み	

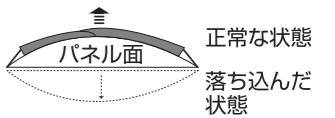


注意

- テント内では、絶対に火気を使用しない。(火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ)
- 大雨・強風時はテントを設営・撤収しない。(けがや破損のおそれ)
- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- 撤収の際、フレームをポールストッパーから抜くときは、フレームを確実に持ってゆっくり行う。(フレームが勢いよくはね返り、けがのおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のペグはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。
- ハンマーは付属していません。お手持ちのペグ用ハンマーをご使用ください。
- パネル面について
強風時や上下に開閉する際、内側に落ち込むことがあります。
その場合、フレーム交差部を引っ張り、正常な向きに戻してください。



設営方法

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

**1 すべてのフレームを
連結して組み立てる**



注意

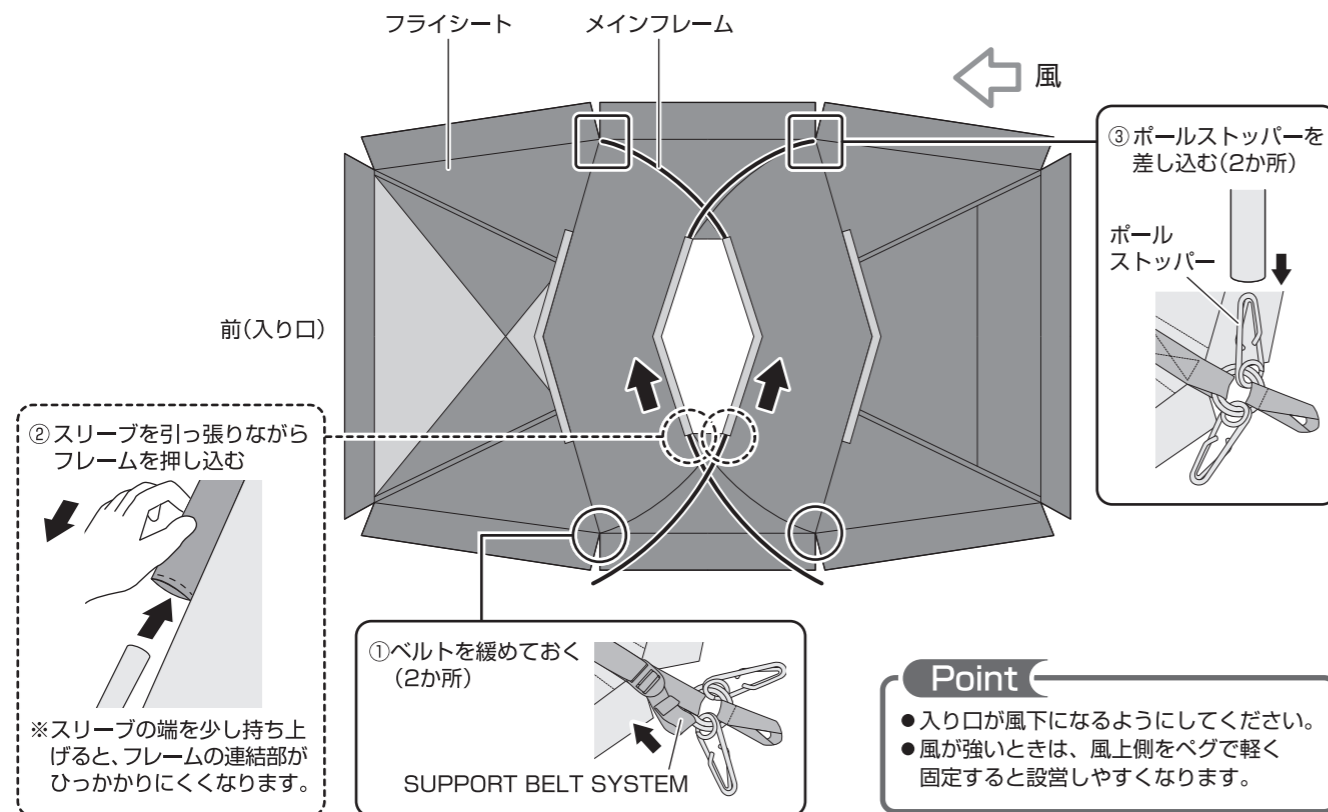
●連結部にすき間ができないようにする。
(すき間があると、接続部が破損するおそれ)



2 フライシートを広げて、メインフレームをスリーブに通す

！ スリーブに通す際、フレームは必ず押す。(フレームを引っ張ると連結部の接続が緩み、破損につながります)

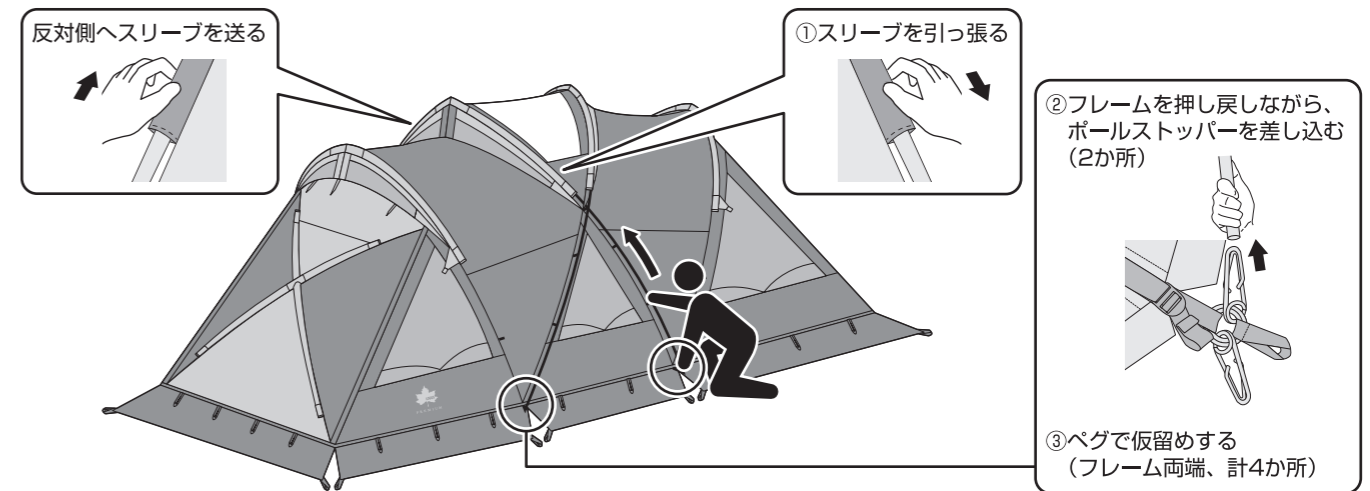
- SUPPORT BELT SYSTEMのベルトをあらかじめ緩めておく。(手順①)
- フレーム先端にポールストッパー(内側)を差し込む。(手順③)



3 フライシートを持ち上げてメインフレームを固定し、ペグで仮留めする

！ 1本のフレームに対して、両側から2人で支えながら作業する。(フレームに不必要な力がかかると折れることがあります)

- ペグは4か所打ち込む。

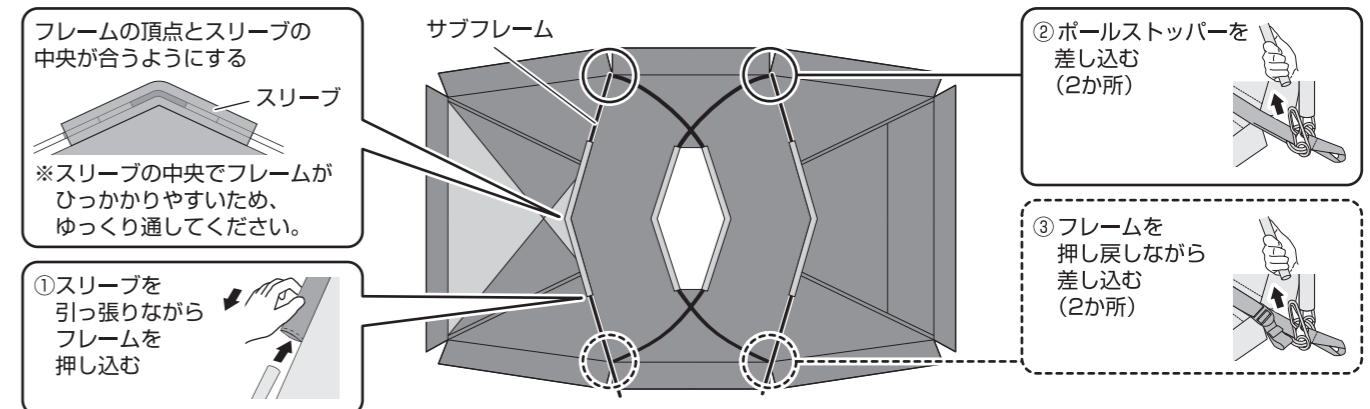


4 サブフレームをスリーブに通し、固定する



注意

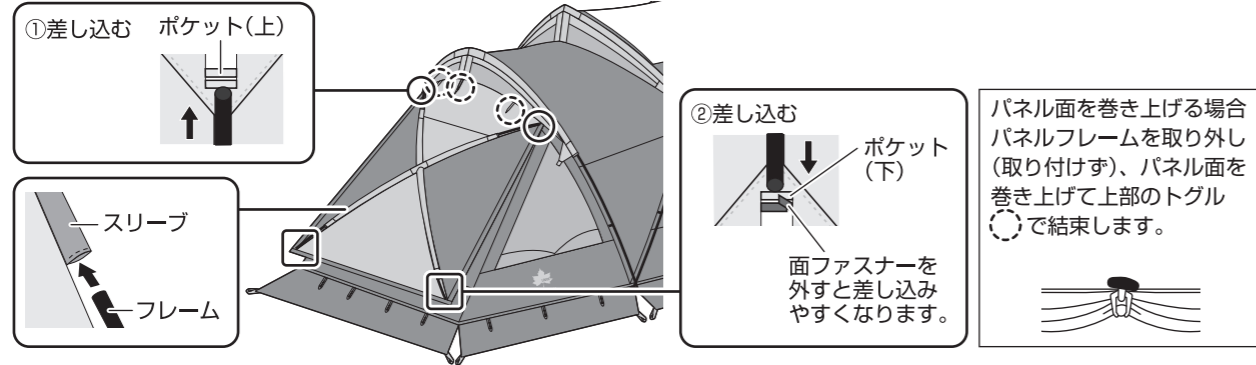
- フレームを固定するときは、放さないように確実に持ってゆっくり行う。(フレームがポールストッパーから抜けると、勢いよくはね返り、けがのおそれ)
- ※撤収の際、ポールストッパーから抜くときも、フレームのはね返りにご注意ください。



続きは裏面を見てください。

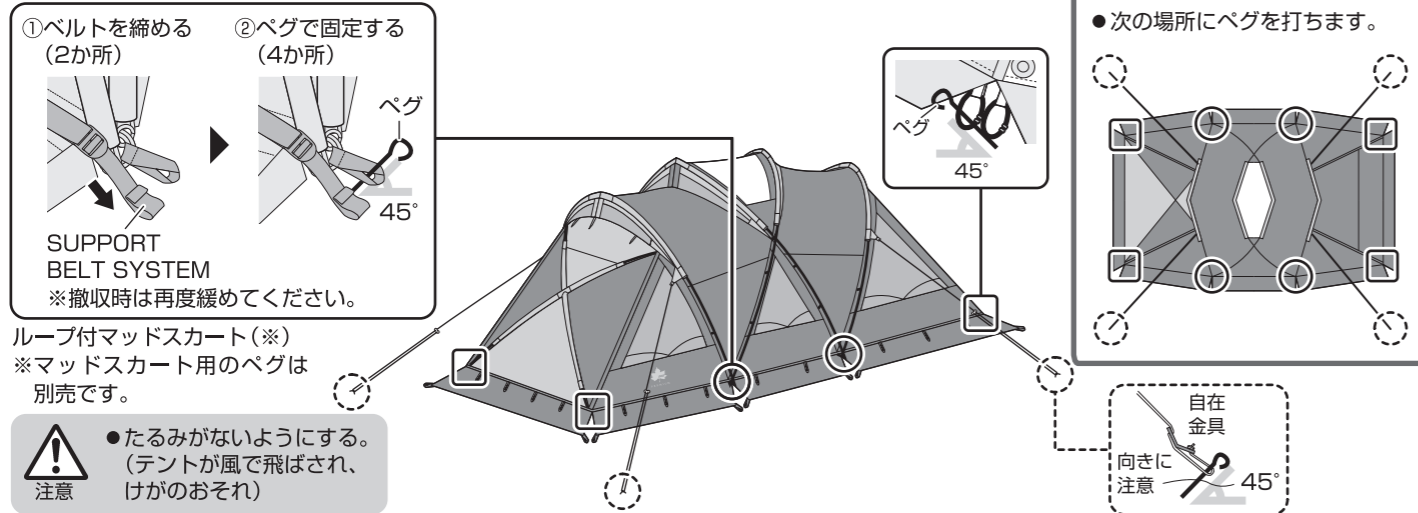
5 パネルフレームを取り付ける

- パネル面を開け、少し持ち上げて行う。

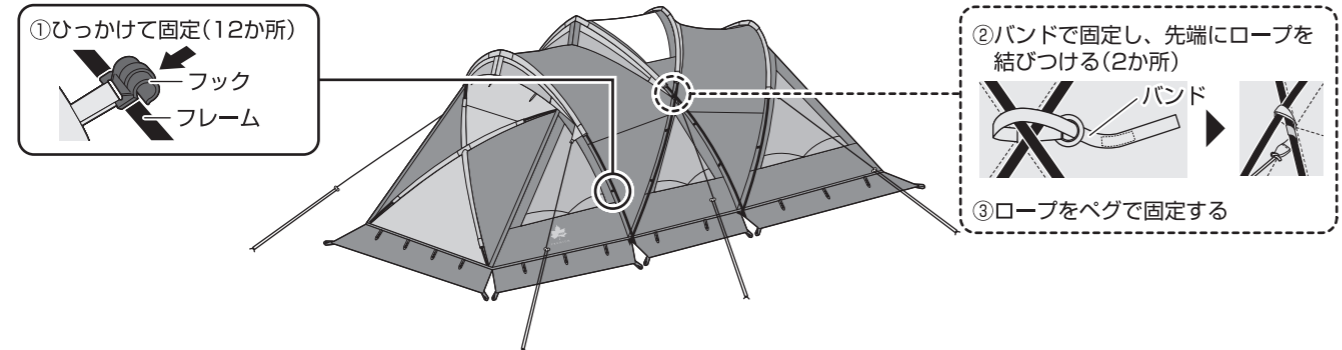


6 ベルトを締め、ペグで地面に固定する

- ペグは12か所打ち込む。(仮留めしていたペグは、一度抜いて固定し直す)

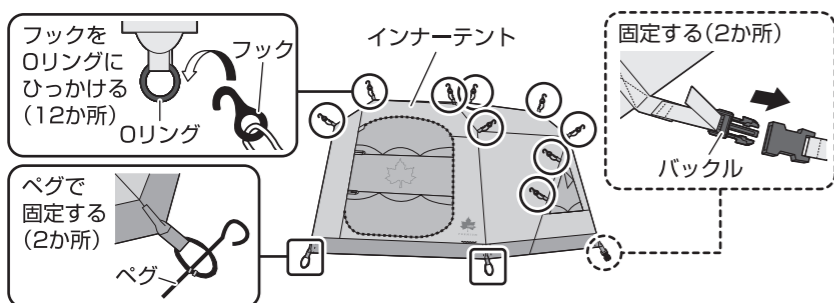


7 フックとバンドで固定する



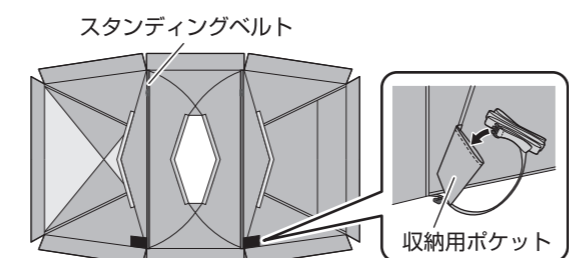
8 インナーテントを吊り下げる

- 奥から手前の順で固定する。



■ スタンディングベルトについて

- 設置完了後、スタンディングベルトはバックルを外して収納できます。

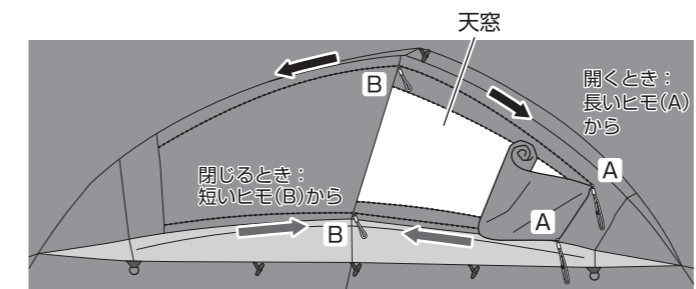


※撤収する際は、ペグを抜く前にすべてのスタンディングベルトのバックルを留め直してください。(テントが正常に立たないため)

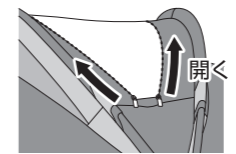
天窓について

■ 使いかた

- 内側の生地ファスナーを左右に開き、巻いてポケットに収納します。
※雨天時は生地を完全に閉めてください。(天窓のファスナーから水が浸入することがあるため)



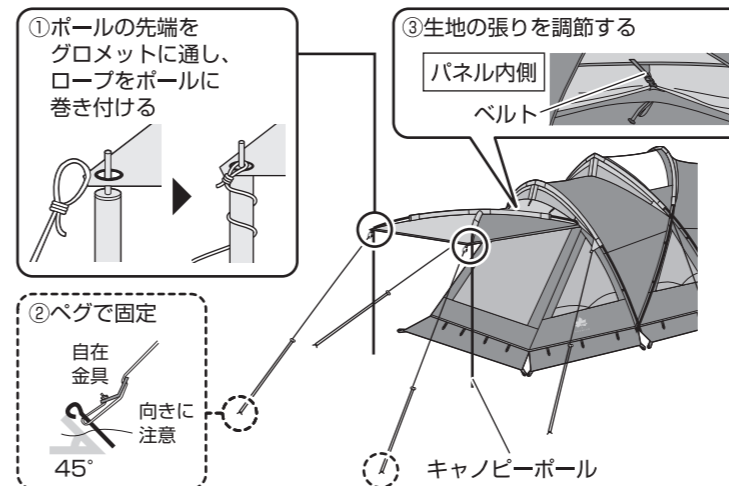
- 天窓は、ファスナーを開いて取り外すことができます。(テント内の風通しが良くなります)
※撤収時は必ず装着してください。



■ 天窓(TPU素材)の特徴と取り扱い

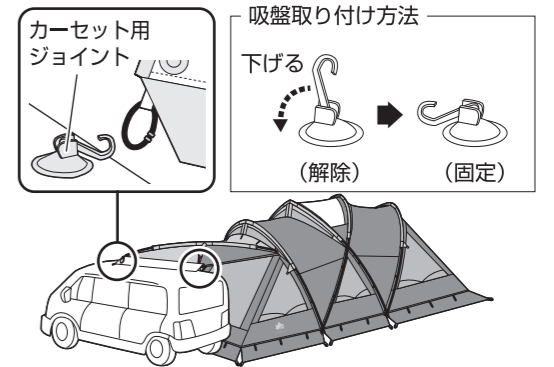
- テントの撤収と保管
 - ①湿気が残らないように、完全に乾かす
 - ②新聞紙などで天窓部分を覆い、なるべくシワにならないようにたたむ
 - ③通気性が良く日の当たらない暗室に保管する
 ※濡れた状態や湿った状態で長期間保管すると、素材が縮んだりカビが発生することがあります。
 - 素材の特徴と経年変化について
 - ・低温にさらされると、素材が縮んだり破損することがあります。なるべく日の当たる場所や暖かい場所でご使用ください。
 - ・素材の特性上、使用に伴い変色することがあります。(自然発生的なものであり、製品の不良ではありません)紫外線に長時間さらし続けると、化学反応によって黄色く変色します。場合によっては、より短期間で変色することもあります。空気や湿気にさらし続けると、素材が白く濁ることがあります。(通常使用の場合、2~3年で発生します)
 - 素材の白化が気になるときは
・布などに、エタノールまたはアルコール(50%以上)を約1ml含ませ、白化した部分を拭き取ってください。(白化の程度によっては、完全に除去できない場合があります)
- 撤収・保管時は、天窓を装着したままにする(取り外さない)

■ 入り口の固定のしかた 【キャンピーポールを使用する場合】



【車と連結する場合】

- ①取り付け場所が凹凸のない面を確認する
 - ②砂やホコリを布で拭き取る
 - ③吸盤を取り付ける
 - ④車を移動して、ゴムリングにひっかける
- ※取り付けの際は、車体に傷を付けないよう十分にご注意ください。



室内で快適に過ごすためには

- 三角窓
 - ・窓を開けておくときは、左右のファスナーを下げ、生地を巻いてポケットに収納します。
- AIR INLET ROOF
 - ・窓を開けておくときは、ファスナーを開け、生地を巻いてトグルで留めます。
- AIR VENT SKIRT
 - ・テント内の風通しを良くしたいときは、マッドスカートを巻き上げてトグルで留めます。

Designed by
LOGOS CORPORATION
発売元
株式会社 ロゴスコーポレーション
〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間：平日10時~17時迄)
■ホームページ / www.logos.ne.jp
■全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

商品ページ▶

